

LM・ブラジル国債ファンド (年2回決算型)

運用報告書 (全体版)

第23期 決算日 2020年3月13日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	年2回の決算日(原則として毎年3月13日及び9月13日。休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)」は、2020年3月13日に第23期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配 金	騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
19期(2018年3月13日)	14,950	10	△ 2.6	97.9	—	3,880
20期(2018年9月13日)	12,303	10	△17.6	97.6	—	3,122
21期(2019年3月13日)	14,405	0	17.1	97.8	—	3,674
22期(2019年9月13日)	13,826	0	△ 4.0	97.7	—	7,370
23期(2020年3月13日)	11,420	0	△17.4	98.3	—	7,413

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期首)	円	%	%	%
2019年9月13日	13,826	—	97.7	—
9月末	13,578	△ 1.8	97.9	—
10月末	14,473	4.7	97.5	—
11月末	13,724	△ 0.7	96.6	—
12月末	14,320	3.6	97.0	—
2020年1月末	13,697	△ 0.9	99.6	—
2月末	13,055	△ 5.6	99.3	—
(期末)				
2020年3月13日	11,420	△17.4	98.3	—

(注) 騰落率は期首比です。

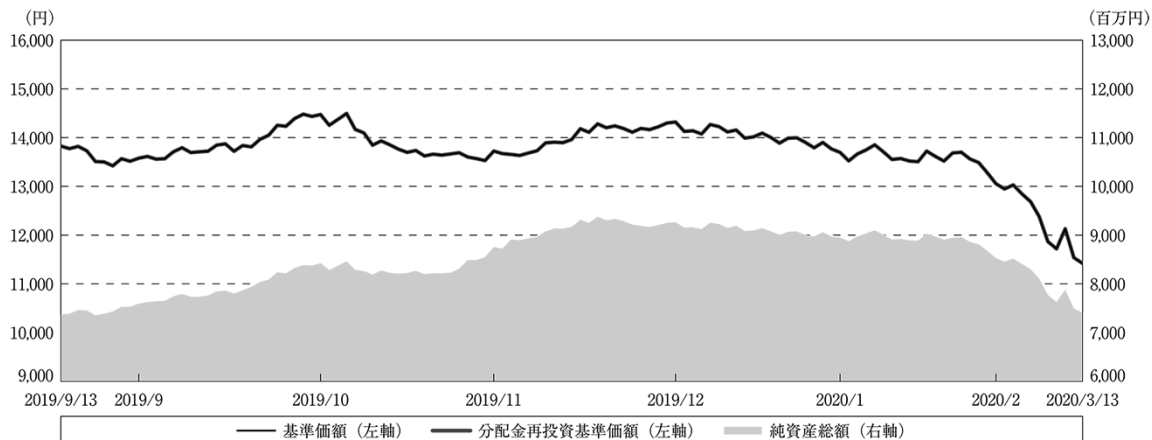
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年9月14日～2020年3月13日)



期首：13,826円

期末：11,420円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 17.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2019年9月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナスとなりました。ブラジルリアル安・円高を反映して、為替損益がマイナスとなったことが主に影響しました。公社債損益についても、債券利回りが上昇したことからマイナスとなりました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、ブラジル中央銀行（BCB）が2019年9月、10月の金融政策委員会（COPOM）で利下げを決定し、追加利下げの可能性も示唆したことなどから、利回りは低下基調となりました。さらに、年金改革法案が議会承認されたことも好感され、利回りの低下（価格は上昇）が進みました。

期の半ばは、チリの政情不安を背景に南米地域への不透明感が広がり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、利回りは上昇しました。しかし、その後、米中貿易協議の合意を背景に投資家のリスク回避姿勢が後退し、ブラジル資産が見直されたことから、利回りは低下しました。

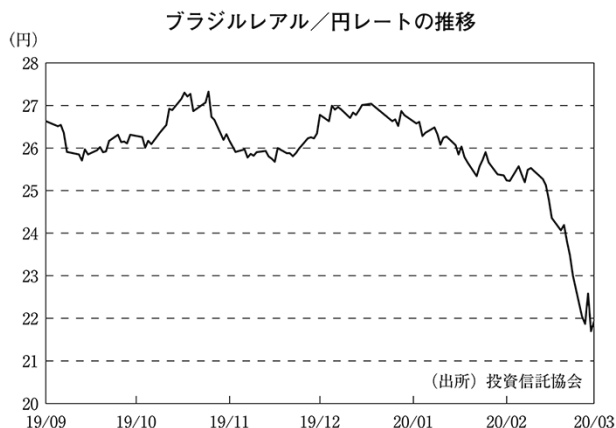
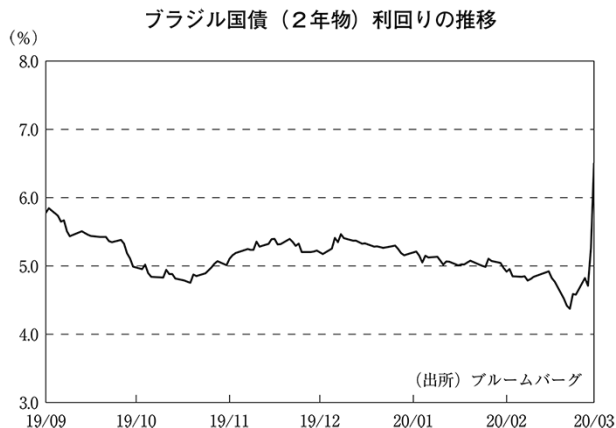
期の後半は、経済指標が予想より弱かったことなどから、BCBによる追加利下げ観測が強まり、利回りは緩やかに低下しました。その後、新型肺炎の感染拡大による世界経済への影響が懸念され、BCBによる金融緩和政策が長期化するとの見方が強まったことから、利回りは低下しました。しかし、当期末にかけては、リスク回避姿勢が強まったことから、利回りは急上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、BCBが利下げを決定したことなどから、リアルは対円で上値の重い展開となりました。しかし、その後、年金改革法案が承認されたことや、米中貿易協議の進展期待が高まりリスク回避姿勢が後退したことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、チリの政情不安を背景としたペソ安の影響から南米通貨が下落し、リアルも対円で軟調となりました。しかし、その後は、米中貿易協議が合意に達し投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。また、ブラジル経済への前向きな見方が広がり、リアルは対円で底堅く推移しました。

期の後半は、BCBによる利下げ観測が強まったことや、新型肺炎の感染拡大による世界経済への影響が懸念されたことなどから、新興国通貨が軟調となる中、リアル売り・円買いが急速に進みました。



当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金

(2019年9月14日～2020年3月13日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第23期
	2019年9月14日～ 2020年3月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,234

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年9月14日～2020年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 117	% 0.848	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(57)	(0.410)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(57)	(0.410)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	12	0.085	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(10)	(0.075)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(1)	(0.007)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	129	0.933	
期中の平均基準価額は、13,807円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

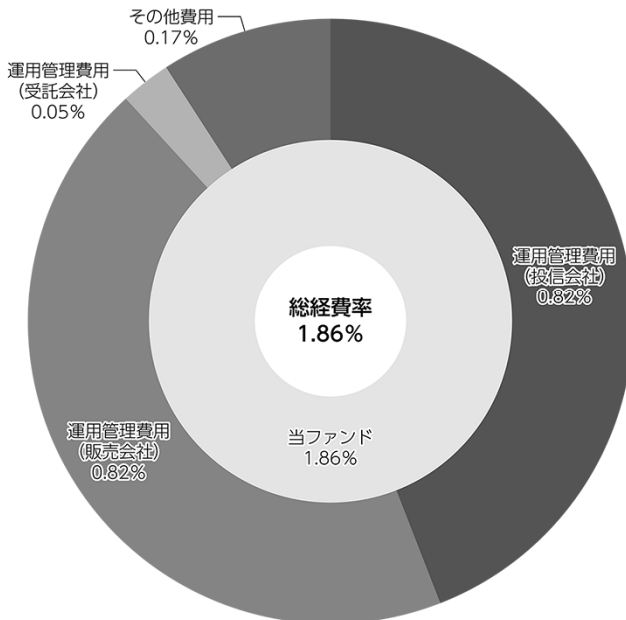
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年9月14日～2020年3月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 1,398,797	千円 2,358,088	千口 474,064	千円 795,926

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年9月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2019年9月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年9月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年3月13日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 4,391,715	千口 5,316,449	千円 7,486,623

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
LM・ブラジル国債マザーファンド	千円 7,486,623	% 99.7
コール・ローン等、その他	24,980	0.3
投資信託財産総額	7,511,603	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(45,463,679千円)の投資信託財産総額(46,238,429千円)に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=105.17円、1ブラジルレアル=21.92円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,511,603,368
LM・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	7,486,623,977
未収入金	24,979,391
(B) 負債	98,013,954
未払解約金	24,979,391
未払信託報酬	72,202,666
その他未払費用	831,897
(C) 純資産総額(A－B)	7,413,589,414
元本	6,491,761,277
次期繰越損益金	921,828,137
(D) 受益権総口数	6,491,761,277口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,420円

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

5,331,208,720円

期中追加設定元本額

1,712,713,283円

期中一部解約元本額

552,160,726円

○損益の状況 (2019年9月14日～2020年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△1,479,422,512
売買益	21,701,047
売買損	△1,501,123,559
(B) 信託報酬等	△ 73,034,563
(C) 当期損益金(A+B)	△1,552,457,075
(D) 前期繰越損益金	△ 62,863,163
(E) 追加信託差損益金	2,537,148,375
(配当等相当額)	(7,015,033,695)
(売買損益相当額)	(△4,477,885,320)
(F) 計(C+D+E)	921,828,137
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	921,828,137
追加信託差損益金	2,537,148,375
(配当等相当額)	(7,022,426,507)
(売買損益相当額)	(△4,485,278,132)
分配準備積立金	919,655,568
繰越損益金	△2,534,975,806

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期
(A) 配 当 等 収 益(費用控除後)	238,432,925円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収 益 調 整 金	7,022,426,507
(D) 分 配 準 備 積 立 金	681,222,643
分 配 対 象 収 益 額(A+B+C+D)	7,942,082,075
(1万口当たり収益分配対象額)	(12,234)
収 益 分 配 金	0
(1万口当たり収益分配金)	(0)

LM・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第12期 決算日 2020年3月13日

(計算期間：2019年3月14日～2020年3月13日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第12期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	円	騰落率			
8期(2016年3月14日)	12,677	△ 8.7	97.2	—	百万円 59,834
9期(2017年3月13日)	17,469	37.8	96.9	—	67,945
10期(2018年3月13日)	17,757	1.6	96.9	—	60,032
11期(2019年3月13日)	17,432	△ 1.8	97.0	—	51,018
12期(2020年3月13日)	14,082	△19.2	97.3	—	46,112

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率
	円	騰落率		
(期首) 2019年3月13日	17,432	—	97.0	—
3月末	16,986	△ 2.6	97.4	—
4月末	16,988	△ 2.5	96.7	—
5月末	16,767	△ 3.8	96.2	—
6月末	17,509	0.4	95.9	—
7月末	18,027	3.4	98.6	—
8月末	16,054	△ 7.9	98.1	—
9月末	16,586	△ 4.9	97.8	—
10月末	17,704	1.6	97.3	—
11月末	16,813	△ 3.6	96.3	—
12月末	17,565	0.8	96.6	—
2020年1月末	16,830	△ 3.5	98.9	—
2月末	16,069	△ 7.8	98.5	—
(期末) 2020年3月13日	14,082	△19.2	97.3	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。為替損益が、ブラジルリアル安・円高を反映して大幅なマイナス寄与となりました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益については、基準価額への影響は大きくありませんでした。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、利回りは概ね横ばいで推移しました。その後、年金改革法案審議の進展期待が強まったことや、ブラジル中央銀行（BCB）による利下げ観測が強まったことなどから、利回りは低下しました。

期の半ばは、米中貿易摩擦激化への懸念などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、利回りは一時上昇（価格は下落）しました。しかし、BCBが利下げを決定したことや、年金改革法案が議会承認されたことなどが好感され、利回りの低下が進みました。

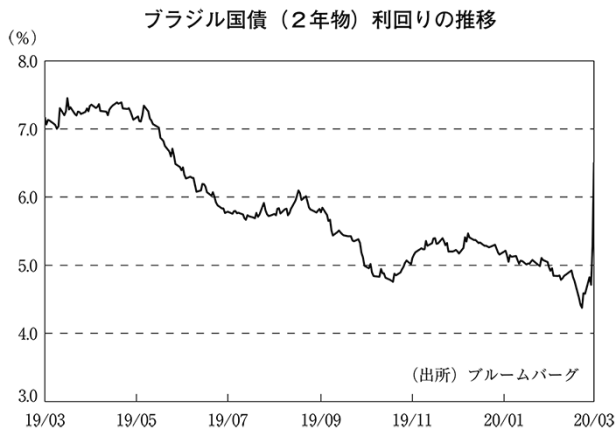
期の後半は、米中貿易協議における合意を背景に投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、利回りは低下しました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響が懸念され、BCBによる金融緩和政策が長期化するとの見方が強まったことから、利回りは低下しました。しかし、当期末にかけては、リスク回避姿勢が強まったことから、利回りは急上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、世界経済の減速懸念が高まったことや、新興国通貨が軟調となった流れを受け、リアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後は、年金改革法案審議の進展期待などを背景に、リアルは対円で底堅く推移しました。

期の半ばは、BCBが利下げを決定したことや、米中貿易摩擦懸念が強まり投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、リアル売り・円買いが強まりました。しかし、その後、年金改革法案が議会承認されたことや、米中貿易協議の進展期待が高まりリスク回避姿勢が後退したことなどから、リアルは対円で底堅く推移しました。

期の後半は、米中貿易協議が合意に達し投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、レ



ル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、BCBによる利下げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響が懸念されたことなどから、リスク回避姿勢が強まり、リアル売り・円買いが急速に進みました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2019年3月14日～2020年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 25 (25)	% 0.150 (0.150)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	25	0.150	
期中の平均基準価額は、16,991円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年3月14日～2020年3月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 1,907,795	千ブラジルリアル 1,234,745 (329,000)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年3月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	1,977,130	2,046,946	44,869,076	97.3	97.3	—	52.1	45.2
合 計	1,977,130	2,046,946	44,869,076	97.3	97.3	—	52.1	45.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
	国債証券					
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	215,000	214,438	4,700,492	2020/4/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	428,000	417,821	9,158,641	2020/10/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	18,800	17,146	375,853	2022/1/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	291,080	301,902	6,617,707	2021/1/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	713,300	761,083	16,682,941	2023/1/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	310,950	334,554	7,333,439	2025/1/1
合 計					44,869,076	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	44,869,076	97.0
コール・ローン等、その他	1,369,353	3.0
投資信託財産総額	46,238,429	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(45,463,679千円)の投資信託財産総額(46,238,429千円)に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=105.17円、1ブラジルレアル=21.92円です。

○特定資産の価格等の調査

(2019年3月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	46,238,429,357
コール・ローン等	776,900,178
公社債(評価額)	44,869,076,656
未収入金	42,783,220
未収利息	542,839,404
前払費用	6,829,899
(B) 負債	125,881,488
未払解約金	125,881,488
(C) 純資産総額(A-B)	46,112,547,869
元本	32,745,533,541
次期繰越損益金	13,367,014,328
(D) 受益権総口数	32,745,533,541口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,082円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	29,266,666,535円
期中追加設定元本額	10,952,493,082円
期中一部解約元本額	7,473,626,076円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	25,810,864,552円
LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	5,316,449,352円
LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)	1,618,219,637円

○損益の状況 (2019年3月14日～2020年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,431,973,797
受取利息	3,432,416,832
支払利息	△ 443,035
(B) 有価証券売買損益	△14,197,817,168
売買益	182,678,068
売買損	△14,380,495,236
(C) 保管費用等	△ 79,437,878
(D) 当期損益金(A+B+C)	△10,845,281,249
(E) 前期繰越損益金	21,751,693,055
(F) 追加信託差損益金	7,749,497,620
(G) 解約差損益金	△ 5,288,895,098
(H) 計(D+E+F+G)	13,367,014,328
次期繰越損益金(H)	13,367,014,328

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。